

表示画面に表示する時計(年月日時分)が合っていない場合は、[時計設定]を行います。

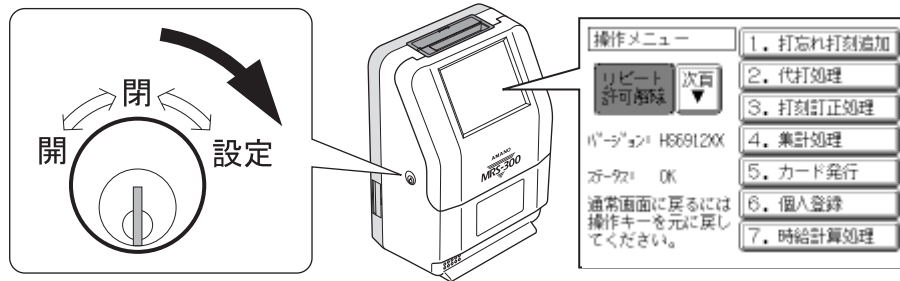


打ち忘れなどをした場合は、[打刻訂正処理]で行ってください。[時計設定]で日付や時刻を戻して打刻すると、現在までの打刻データが削除されたり、「MRS-700」が使用できなくなることがあります。

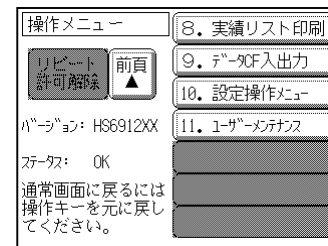
例：午後1時30分に設定する場合。

**1** 管理錠にカギを差し込み、右（「設定」の位置）に回します。

[操作メニュー]画面を表示します。

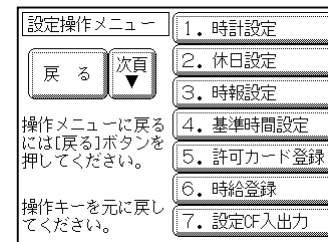


**2** ボタンを押し、 ボタンを押します。



**3** ボタンを押します。

[時計設定]画面を表示します。



**4** 時刻を修正します。

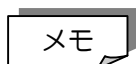
例題の操作

- ① 数字のボタンの を押します。
- ② ボタンを押します。



時刻の修正は終了しました。 ボタンを押すと[設定操作メニュー]画面に戻ります。

「月 日」・「西暦年」を修正する場合は、カーソルを修正する項目に合わせ、数字ボタンと ボタンを押して修正します。



- 現在入力中の項目はカーソルが点滅しています。
- カーソルは ボタンを押すごとに、【月】【日】【西暦年】【時刻】の順に移動します。
- 00秒ちょうどに時計を合わせるときは、 ボタンを押します。
- 時計は24時制で入力します。
- 年は「西暦年」で入力します。
- 「MRS-700」の時計の精度は、「気温 25℃±5℃の環境で通電時週差±3秒以内」です。  
気温 25℃±5℃の環境に「MRS-700」を設置することをおすすめします。